

Japanese Red Cross Kochi Hospital +



高知赤十字病院
2021年度
初期臨床研修プログラム



✦ 高知赤十字病院の理念、基本方針

新病院スローガン

～最善の医療を尽くし、地域とともに安心・安全を未来へつなぐ赤十字～



▲新病院外観

高知赤十字病院理念▶

愛され、親しまれ、信頼される病院づくりを目指します。

高知赤十字病院基本方針▶

- ✦ 人道・公平・中立・奉仕の赤十字基本原則を遵守します。
- ✦ チーム医療を推進し、患者様中心の安全で良質な医療を提供します。
- ✦ 高度医療の推進と救急医療の充実を図ります。
- ✦ 地域医療機関との連携を推進し、地域医療レベルの向上に努めます。
- ✦ 教育・研修の推進と次代を担う医療従事者を育成します。
- ✦ 災害における医療救護活動へ積極的な参加と支援を行います。

高知赤十字病院は、昭和3年の創立以来、人道・公平・中立・奉仕の赤十字基本原則のもとに「愛され、親しまれ、信頼される病院づくり」を合言葉に、チーム医療を推進し、患者様中心の医療を提供しています。

当院の臨床症例は質・量ともに豊富です。臨床研修に意欲を持ち、医師や他のスタッフと協調できる責任感と忍耐力を持ち合わせている臨床研修医をお待ちしています。



高知赤十字病院
院長 浜口 伸正

＋病院概要

当院は、高知県の中央部に位置し、昭和3年の開設以来、中央保健医療圏域の基幹病院として高度医療の提供に努めてきました。

昭和 3年：日本赤十字社高知県支部療院として開設

平成 6年：高知県で最初の救命救急センター開設

平成11年：全国初の脳死下臓器提供実施（1例目と50例目）

平成15年：臨床研修病院に指定される

平成17年：地域医療支援病院となる

平成19年：医療用画像管理システム（PACS）稼働

平成23年：災害拠点病院として東日本大震災救護班編成出動（12班）

平成27年：高知県がん診療連携推進病院に指定される

平成28年：熊本地震救護班編成出動（4班）

平成30年：病院創立90周年

令和 元年：新病院開院

【令和元年度実績】



【指定病院（一部抜粋）】

救命救急センター
地域災害拠点病院
高知県がん診療連携推進病院
地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定病院
DPC対象病院の特定病院群

【医師数（令和2年5月時点）】



*…後期研修医および
専攻医が在籍する診療科

＋2019年5月6日 新病院開院！

ついに診療スタート▶

新病院は、地上8階建て、病床数402床で、広域的な災害拠点病院としての役割を果たすため非常用設備を強化するとともに、屋上ヘリポートを整備し、救急医療の充実を図っています。

研修環境として、研修医ルームを完備し、スキルスラボを設置しました。スキルスラボではシミュレーターを使用した研修会や、各診療科協力のもと勉強会を行い、技術及び知識の向上を目指します。

救命救急センターの充実

- ☞ 緊急初療室は手術室機能を完備
- ☞ 救急搬送患者の動線効率の改善、プライバシーの確保
- ☞ ナースステーションから看視しやすい病床（ICU）
- ☞ 隣接する北消防署との連携強化（病院派遣型ワークステーションの設置）

その他

- ☞ 県内初の女性病棟設置
- ☞ 駐車場の拡大（駐車台数約3倍）
- ☞ 省エネ設備の導入
- ☞ 食堂、カフェ
- ☞ 院内保育所完備

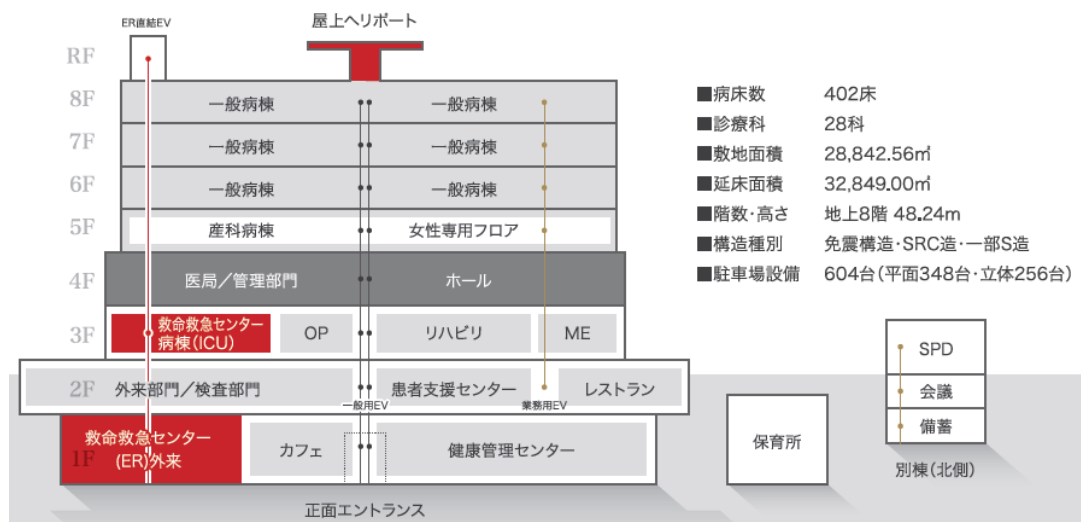
診療機能の強化

がん、脳卒中、急性心筋梗塞に十分に対応できる体制を構築

- ☞ 手術室の増設（6室→8室）
- ☞ SCUの新設（6床）

高度医療機器の整備

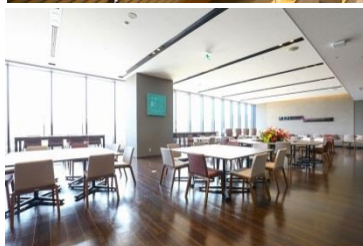
- ☞ CT(128列)の新規導入(CT2台→3台)による画像診断機能の充実
- ☞ MRIの更新(3テスラ、1.5テスラ)
- ☞ 血管造影装置を1台増設(2台→3台)



▼1階エントランス



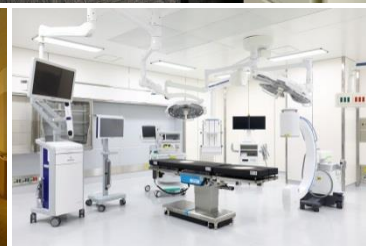
▼研修医医局



▲オープンスペース(食堂)



▲病棟エリア



▲手術室

研修プログラム

研修目的▶

- 幅広いプライマリ・ケアに対応し得る基礎的な知識、技術、態度を身につける。
- 実績のある救命救急医療や地域医療支援及び地域がん診療連携の機能を活かし、急性期疾患、救急疾患を診療できる技能を修得する。

研修スケジュール▶

到達目標及び将来の希望診療科等に配慮し、個人の希望に応じてローテーションを組みます。
自由選択期間は、厚生労働省の到達目標を満たす範囲内で希望に応じます。
当院のみならず協力病院での研修も選択することが出来ます。

必修科目：内科（24 週）、救急（12 週）、外科・産婦人科・小児科・精神科・地域医療（各 4 週）

当院プログラムの必修科目：麻酔科（4 週）

【ローテーション例】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科(16週)				麻酔科 (4週)	救急 (4週)	内科 (8週)		外科 (4週)	自由 選択科	救急 (8週)	
2年次	産婦 人科 (4週)	小児科 (4週)	精神科 (4週)	地域 医療 (4週)	自由選択科							

※内科 5 科：一般内科、糖尿病・腎臓内科、消化器内科、循環器内科、呼吸器内科

※精神科：高知大学医学部附属病院、土佐病院、高知医療センター、近森病院、細木病院、
海辺の杜ホスピタルより選択

※地域医療：高知県内の協力施設にて研修

＋ 一般外来研修について

2020 年 4 月開始プログラムより、臨床研修制度が大幅に改訂されました。

そこで新しく必修となったのが、一般外来研修（4 週以上）です。

当院は主に必修科目の内科を研修中に週 1 回程度の一般外来研修を行います。

協力型病院▶

徳島大学病院、高知大学医学部附属病院、高知医療センター、近森病院、近森リハビリテーション病院、
国立高知病院、細木病院、土佐病院、あき総合病院、幡多けんみん病院、高知生協病院、海辺の杜ホスピタル

協力施設▶

○国立保健医療科学院

○地域医療研修

佐川町立高北国民健康保険病院、特定医療法人長生会大井田病院、大月町国民健康保険大月病院
本山町立国保嶺北中央病院、梶原町立国民健康保険梶原病院、医療法人聖真会渭南病院、
医療法人臼井会田野病院、ほか、各地域の診療所

その他特記事項▶

- 救急の当直業務（基本 5 回/月、当直明けは業務終了後帰宅可）を経験し、全診療科にわたる救急患者に関する知識・技術を習得します。
- 自由選択期間で救急部を選択した場合は、ICU での重点的な研修も可能です。

研修医の声▶ 始まる前は不安に思うことも多かったですが、始まってしまえばあっという間に過ぎた 2 年間でした。最初は何もわからない状態でしたが、教育熱心で優しい先生やコメディカルの方々、またなんでも相談できる同期に恵まれたおかげでなんとか乗り越えることができました。私が高知赤十字病院を選んだ理由としては、3 次救急病院であり、研修医がファーストタッチで患者さまに対応させてもらえ、さらにウォークインも診ることができるという事でした。もちろん冷汗をかくこともありましたが、様々な症例を診ることができ、本当に良い経験ができたと思っています。研修医になったら、手技など行う機会も多いかと思います。身につけたい手技などは予習しておいてチャンスがきたら積極的に挑戦してみてください。教える側もやはり積極性がある人に教えたくなるものです。

＋救命救急センター

救急から ICU へ一体化した治療を実践！▶

当院の特徴は、複数科にまたがる患者さんが多く、救命診療部を中心に各科と連携のとれた治療を実施していることです。救命診療部医師は現在 15 名（男性 11 名、女性 4 名）で、そのうち救急科専門医は 10 名と、中四国屈指の陣容となっています。救急はもちろんのこと、麻酔、集中治療、外科、外傷など幅広い専門医資格を持ったドクターが日々診療にあたっています。救急外来では初期診断力を養い、初期治療について重点的に学び、重症患者については引き続き ICU にて全身管理の勉強をしています。ICU では IVH や A-line の挿入、気管切開など様々な手技も経験できます。

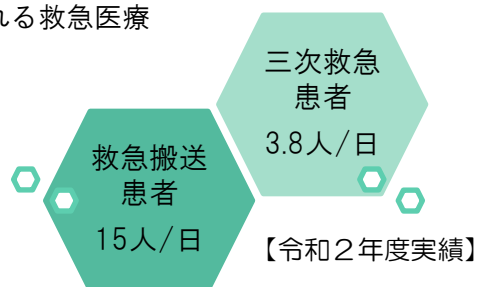
また、高知県や地域の先生方、救急隊と一緒に ICLS、JPTEC、MCLS コースなどの研修を行っています。

【当院が目指す救急】

- 入り口である救急外来と重症患者を管理する ICU へ一体として流れる救急医療
- 病院前救護である救急隊との連携を強化した救急医療
- 教えることは学ぶことを実践

☞ 院外からも救急研修を希望する初期研修医を積極的に受入れており、令和元年度は 17 名の初期研修医が当院にて研修を行いました。

互いが様々な刺激を受け、高め合っている環境となっています。



協力型研修医の声▶

- ＋ 救急外来では主に外傷の初期診療と対応を見ることが出来たのが大きい。

ICU では穿刺系の手技はほぼ習得でき、研修医が知っておいた方が良くと思われる手技や注意事項をたくさん学べた。

- ＋ 典型的で致死的な症例を研修医同士で振り返り、対応のフィードバックを指導医がくれるという仕組みがある点が良かった。

救急部ブログはこちらから！

高知赤十字病院 救急部 HP

検索



＋災害拠点病院として

当院は広域的な災害拠点病院として、災害時には県下全域から重症患者等を受け入れ、診療を行います。日本赤十字社の開設する病院として全6班の救護班、統括DMAT5名、日本DMAT6隊を有しており、各種訓練にも積極的に参加し有事の際に備え準備をしています。また、高知県の緊急の課題である南海トラフ巨大地震対策についても院内外と連携した訓練や人材育成に積極的に取り組んでいます。

研修医の先生方にも、日本赤十字社高知県支部等が開催する災害医療救護訓練や、当院で開催する院内災害対策訓練には原則全員参加していただきます。



▲院内災害対策訓練は年2回実施。
幹部をはじめ職員200人以上が参加。
職員一丸となって有事に備えている。

▲救護班の派遣は赤十字の重要な使命
平成23年 東日本大震災（計12班）
平成26年 広島市豪雨災害（計1班）
平成28年 熊本地震（計4班）
平成30年 西日本豪雨災害（計2班）

＋専門研修プログラム（新専門医制度）

初期臨床研修修了後の進路として、平成30年度よりスタートした新専門医制度に則り、当院では基幹施設として内科領域と救急領域の2つのプログラムをスタートしました。初年度は内科領域に3名、救急領域に2名の専攻医を迎え、研修を開始しています。研修期間は原則3年とし、当院ならび連携施設で研鑽を積みます。初期研修で習得した幅広い知識と経験をベースとして、各自が進む分野に特化した専門技術および知識の習得を目指します。

基幹施設として

▶内科専門研修プログラム（募集定員5名）

専攻医数 5名（令和2年4月時点）

▶救急科専門研修プログラム（募集定員3名）

専攻医数 2名（令和2年4月時点）

連携施設として

内科、小児科、皮膚科、外科、整形外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、
脳神経外科、放射線科、麻酔科、病理診断科、救急科、形成外科、総合診療科

+ 当院の特色

4月 オリエンテーション

医療安全などの座学から、縫合や静脈注射などの手技まで、医療業務の基礎を学びます。

高知県内の初期研修医全員で行う合同オリエンテーションにも参加します。



6月～10月 コメディカル実習

チーム医療のリーダーとしての資質向上のため、看護、リハビリ、検査、薬剤、放射線業務を行います。



7月・3月 レジナビ

大阪、東京で開催されるレジナビに高知家の一員として参加します。



9月 災害医療救護訓練

医師としての災害時の対応について学びます。



11月 日赤スポーツ大会

クラブ活動は全部で5種目あり、毎年四国大会へ出場しています。
(野球、フットサル、テニス、バスケットボール、バレーボール)



12月 高知赤十字病院医学会、忘年会

医学会では研修医部門を設け、大賞を選出します。

忘年会は職種関係なく、皆で1年の頑張りを讃えます。



3月 修了式・祝賀会

指導にあたった先生方や、看護師長も参加し門出を盛大に祝います。



研修医勉強会

手指衛生や救急対応の基本、各診療科の講義など、その時々ニーズに合わせて勉強会を行っています。



ICLS、JPTEC など

院内で開催される ICLS、JPTEC 等、研修医もインストラクターとして参加します。



ダヴィンチ手術（da Vinci Si™型）

泌尿器科での前立腺がん・腎がん、外科での胃がん手術で活躍しています。



外科と内科の協働手術「LECS」

外科と消化器内科の医師との協働による胃粘膜下腫瘍手術です。



スキルスラボ

スキルスラボでは、職員が積極的に研鑽を積めるよう、各種シミュレーターを整備予定です。



NBI併用 拡大内視鏡

日本でもトップクラスの診断技術を持った医師が携わり、後進の教育にも積極的に取り組んでいます。



＋令和３年度採用 初期臨床研修医募集要項

応募資格：医師免許取得者または来春取得予定者、かつマッチングシステム参加登録を行う者

募集定員：１０名

募集期間：令和２年７月１日（水）～８月２６日（水）※必着

試験日程：第１回：令和２年８月５日（水）

第２回：令和２年８月１９日（水）

第３回：令和２年８月２６日（水）

第４回：令和２年８月２９日（土）

第５回：令和２年９月２日（水）

選考方法：①小論文（８００字程度、テーマ当日発表、所要時間：１時間） ②面接

応募方法：以下の書類を郵送または持参し、その際「臨床研修応募」の旨をご記載ください。

後日、受験票を郵送します。なお、提出書類は返却いたしません。

① 履歴書 ※当院ホームページ内の「採用情報」ページにある所定の様式に記入しご提出ください。

② 卒業（見込）証明書

③ 成績証明書

④ 定形返信用封筒１枚（受験票返送用）※送付先・氏名を記入し８４円切手を貼付

※ご希望の選考日を履歴書に記載し、試験日の１週間前までに必要書類をご提出ください。

また上記の選考日でご都合がつかない場合は、研修医採用担当までご連絡ください。

勤務条件：①身分：常勤嘱託医師

②勤務日：月曜日～金曜日

③勤務時間：午前８時３０分～午後５時５分

ただし、救急研修時は午前８時００分～午後４時３５分まで（勤務の他に宿日直勤務有）

④休日：土曜日、日曜日、国民の祝日、５月１日（日本赤十字社創立記念日）、

１２月２９日から翌年１月３日（年末年始の６日間）

処 遇：①基本月給：※医師確保調整手当を含む

１年次 ３００，０００円／２年次 ３５０，０００円

②住居手当：月額２８，５００円を限度として支給（社宅なし）

③宿日直手当：１６，０００円／回（基本５回／月）

④その他手当：時間外手当、通勤手当、扶養手当、特殊勤務手当あり

⑤福利厚生事業：「日本赤十字社職員福利厚生規則」に基づく、院内保育所あり

⑥社会保険：健康保険、厚生年金、日本赤十字社厚生年金基金、労災、雇用保険、医師賠償責任保険

⑦その他：学会出張費支給制度（１５万円／年） 健康診断（年２回）

書類送付先、及び問合せ先：
〒780-8562 高知市秦南町一丁目４番６３-１１号
高知赤十字病院 総務・人事課 研修医採用担当
TEL: 088-822-1201（代表） FAX: 088-822-1056
e-mail: kenshu@kochi-med.jrc.or.jp

+ 病院見学

病院見学、随時受け付けております。お申し込みは、電話またはメールにて承ります。

見学日程、内容など出来る限りご希望に応じていますので、お気軽にお問い合わせください。

☞詳細は当院 HP をご覧ください。

【見学コース】 ☞1 日見学コース（複数の診療科の見学も可能）

高知赤十字病院 病院見学

検索

☞1 泊 2 日当直コース（1 日見学+救急外来の当直見学）※当直室を完備しております。



+ 施設認定一覧（一部抜粋）

日本救急医学会救急科専門医指定施設
日本集中治療医学会集中治療専門医研修施設
日本呼吸療法医学会専門医研修施設
日本形成外科学会認定施設
日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設
日本外科学会外科専門医制度修練施設
日本呼吸器外科専門医合同委員会認定修練施設
日本消化器外科学会専門医修練施設
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定インプラント実施施設
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定エキスパンダー実施施設
日本消化器内視鏡学会指導施設
日本人間ドック学会人間ドック健診施設機能評価
日本人間ドック学会人間ドック健診専門医研修施設
日本呼吸器学会認定施設
日本呼吸器内視鏡学会専門医制度認定施設
日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
日本産婦人科内視鏡学会認定研修施設
日本周産期・新生児医学会周産期(母体・胎児)専門医暫定認定施設
日本口腔ケア学会認定口腔ケア施設
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設
日本栄養療法推進協議会認定 NST 稼働施設
日本静脈経腸栄養学会認定 NST 稼働施設
日本循環器学会認定循環器専門医研修施設

日本外傷学会外傷専門医研修施設
日本消化器病学会認定施設
日本輸血・細胞治療学会認定医制度指定施設
日本臨床腫瘍学会認定施設（特別連携施設）
日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本三学会構成心臓血管外科専門医認定機構認定基幹施設
日本整形外科学会認定医研修施設
日本リハビリテーション医学会研修施設
日本内科学会認定医制度教育関連病院
日本糖尿病学会認定教育施設
日本腎臓学会研修施設
日本リウマチ学会認定教育施設
日本脳神経外科学会専門医制度研修施設
日本脳卒中学会専門医研修教育施設
日本透析医学会認定医施設
日本泌尿器科学会専門医基幹教育施設
日本病理学会研修登録施設
日本皮膚科学会認定専門医研修施設
日本臨床細胞学会認定施設
日本医学会放射線学会認定放射線科専門医修練機関
日本乳がん検診精度管理中央機構認定マンモグラフィ検診施設
（乳房エックス線写真）
日本麻酔科学会認定病院



高知赤十字病院

Da Vinci Si

CPC

心臓カテーテル

心臓カテーテル

心臓カテーテル

心臓カテーテル

拡大内視鏡

挿管マスター

心エコー

人工透析

救急当直

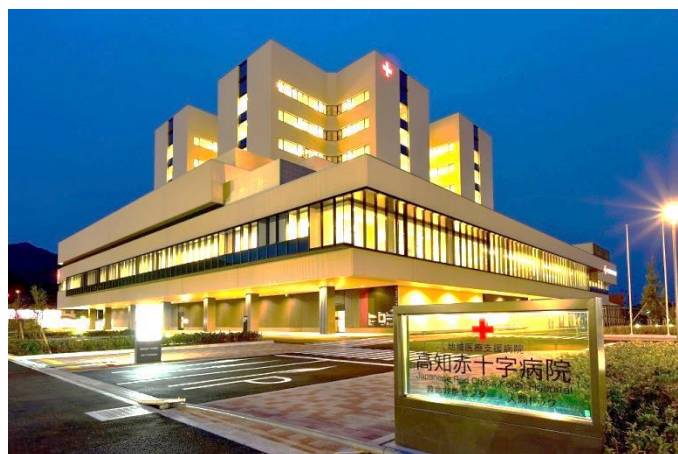
災害救護

地域医療



「こは」

やりたい



詳細は当院 HP をご覧ください。

高知赤十字病院

検索



令和元年 5 月 6 日
新築移転しました！



お問い合わせ

〒780-8562 高知市秦南町一丁目 4 番 63-11 号

高知赤十字病院 総務・人事課 研修医採用担当

TEL: 088-822-1201 (代表) FAX: 088-822-1056

e-mail: kenshu@kochi-med.jrc.or.jp